中津川市立阿木高等学校

学 校 長　　纐纈　斗一
学校住所　　中津川市阿木１１９　　電話　0573-63-2243

1　会の名称　　中津川市立阿木高等学校　　学校評議員会（第２回）

2　会の構成　　委　員　加 藤　里 枝　　阿木保育園長
渡 邉　忠 義　　阿木区長会会長
三 輪　宗 弘　　社会福祉協議会阿木支部長
可 知　幸 作　　交通安全協会阿木支部長
三 宅　邦 彦　　阿木高校育友会会長
（委員名は順不同）
学校側　纐 纈　斗 一　　校長
工 藤　正 紀　　教頭
太 田　尚 宏　　事務長
佐々木 元 明　　教務主任
藤 井　恵 太　　生徒指導主事
小 池　匡 弥　　進路指導主事
河 島　映 美　　生産科学科長
髙 木　明 美　　総合生活科長

3　会の目的　学校運営等について、地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた学校づくりを推進するため、中津川市立阿木高等学校に学校評議員（以下「評議員」という）を置く。

4　会の開催　令和５年１月２７日（金）　　１３：３０～１５：２０
阿木高等学校　会議室　委員　出席５名　欠席０名　学校側　出席８名

5　会の概要　体育館にて学習成果発表会を参観し、その後、各学科長が今年度の取り組みを説明し、学校長が今年度の各分掌等の自己評価を説明し、評議員からご意見等をいただいた。

6　学科長の説明

生産科学科長より

生産科学科では 5 月には近くの阿木小学校の児童を招いて本校茶園で茶摘み体験を企画し、とても喜んでもらった。また、数年ぶりに全国高校生そば打ち選手権にも参加した。また、今年度は数年ぶりに全国高校生そば打ち選手権大会に出場した。残念ながら入賞は出来

なかったが、そば打ちの練習の段階から阿木地区の営農組合の方々に熱心にご指導をいただき、感謝している。また、地域の農家の方から通常の販売には不適格な果実を食品製造の授業に提供していただいた。阿木地区の清水農産の方にはお米作りの指導をしていただき、秋に収穫したお米を全国農業高校お米甲子園に出品した。地域との連携の大切さを改めて実感した１年となった。地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいである。

農業クラブの活動では農業クラブ全国大会農業鑑定競技において本校の生徒が優秀賞を受賞した。阿木高校として昨年に続き２年連続で全国大会優秀賞を獲得した。また、課題研究の一つとして SDGs 活動に積極的に取り組んでおり、その活動が認められ、ＣＢＣラジオでもニュースマンという番組の中で 3 週連続阿木高校の取り組みを取り上げて放送していただいた。そして、本校の SDGs 活動はユーチューブでも紹介された。地域の方からも「ラジオを聴いたよ。」「すごいね。」などの声をいただいた。このことは生徒たちの自信にもつながった。

総合生活科長より

本年度の総合生活科は 4 年次生まで計２２名という少人数だが、授業では華道や茶道をはじめ専門の外部講師を招くことでより質の高い授業を追求した。地域の外部講師の指導による浴衣の着付け講習会や認知症サポーター養成講座、藍染め講習会などはどれも生徒の関心が高く、意欲的に授業に参加する姿勢がみられた。また、地域とのつながりを大切にした取り組みとして、独居高齢者を対象に配達されるお弁当が冷めないようにと生徒手作りのお弁当袋 50 個をプレゼントした。12 月には阿木事務所で開催されたお年寄りを対象としたお達者サロンに参加し、一緒に健康体操を踊って大変好評をいただいた。さらに近隣の阿木保育園との交流の一環で 10 月にはハロウィングッズ、12 月にはクリスマスプレゼントを授業で製作し、園児にプレゼントした。さらに、岐阜女子大学主催の第 14 回高校生「朝ごはん」コンテストにおいて本校 4 年次生の男子生徒が応募総数 327 点の中からわずか 6 点の入賞に選出された。

家庭クラブでは今年度岐阜県家庭クラブ年次大会東濃地区代表として 3 年次生の男子生徒が県大会で「競技パフォーマンスを上げるために～マイドリンクでパワー全開～」発表し、優秀賞を獲得した。また、阿木地区の社会福祉協議会と連携し、交通安全キャンペーンに参加した。さらに家庭クラブ以外の生徒にも呼び掛け、校内外の美化活動も展開した。

総合生活科としては、生徒が主体的に取り組める活動を来年度も保証していきたいと考えている。

7　校長挨拶

今年度の反省評価及び来年度に向けての課題（学校長）

資料の１枚目は学校運営に関して今年度の重点目標である。キーワードとして、生徒の学習意欲の喚起、個に応じたキャリア教育、生徒・保護者に寄り添った丁寧な支援、これは本校が最も大切にしてきた三本柱である。目標の達成に必要な具体的取り組みや取り組み状

況、そして成果と課題についての自己評価が資料に明記してある。学校運営については生徒と保護者を対象にアンケートを年 2 回とっている。学習内容の精選と評価方法が今年度の課題となった。その課題を来年度に向けての改善方策案として挙げている。

教務部の自己評価に移ると重点目標として、基礎学力の定着、主体的な学習態度の育成、タブレットや視聴覚機器を取り入れる授業方法の改善、そして成績処理システムの運用というような 4 点をキーワードとして取り組み、自己評価をした。課題としては学校設定科目も今年の 1 年生から新学習指導要領となり、評価方法も変更する必要が出てきている。学校設定科目であるマルチなどの学び直しの授業の内容と観点別評価を加味した評価方法の検討が必要になってきた。

生徒指導部の重点目標としては、楽しく安全安心できる学校、規範意識や公共の場でのマナーの向上、ボランティア活動を通して自己肯定感等の育成がキーワードとなる。大学講師等外部の専門家を招いて実例を取り入れて生徒に伝えることが必要になっている。「SOS の出し方」講座では、本校のスクールカウンセラーを講師に招いて実施することができた。来年度の課題として外部講師をうまく活用して、生徒たちへの啓発活動や生命の安全確保につなげていきたい。MS リーダーズという地域の高校と警察と連携してボランティア活動が行う組織がある。今年度は本校から 15 名の生徒がこの MS リーダーズ活動に参加をした。来年度の目標は 3 点ある。組織で対応、外部講師の活用、教育相談体制の充実である。

進路指導部に関する重点目標のキーワードは、キャリア教育の充実と就職率 100%、進路実現率 100 を掲げている。平成 26 年から続いている。今年度、就職希望者 15 名のうち、現在のところ内定が 14 名。1 名については進行中である。進学については、7 名中 7 名とも合格した。成果と課題としては進路も今年度、3 年生はインターンシップがコロナの影響で行えなかった。キャリコンの先生も交えながら、進路指導に力を入れてきた。来年度に向けての改善方策等については、入学から卒業までを見通した進路行事のサイクル策定を課題として挙げている。

8　学校評議員会委員からの感想、助言、提言

学校評議員 A

今日初めて発表を見させていただいたが、本当にみんな堂々として成果もしっかり出ていたと思いながら発表を見させてもらいました。今日の発表に至るには、先生方の多くのアドバイスや色々な支援がたくさんあったと思うが、生徒達が経験していく過程の経験値が大事だと思う。努力の過程を経験してもらって、子供達にも自信をつけさせる。そういうことが非常に大事だと思っている。阿木高校では学び直しの授業があり、中学時代の勉強をもう一度やり直していると思うが、それでもちゃんと高校を卒業できるということになれば、それなりの自信が子どもたちにつくし、そういう意味では阿木高校には、これからも頑張ってやっていただきたい。

学校評議員 B

社会福祉協議会でも阿木高校の生徒に大変お世話になっている。年末の阿木事務所で行わ

れた高齢者とのふれあいサロンでは生徒の手作りジャムを高齢者の方々に配布していただいた。また、今年度も水戸黄門のテーマ曲に合わせて軽い体操を 4 年次生の生徒と一緒に踊ることができた。阿木地区の方々はこの企画をすごく楽しみにしているので、交流できる機会を来年度以降も継続してもらいたいと思う。阿木高の総合生活科の生徒が製作して寄付してくれたお弁当袋は大変素晴らしかった。1 月に、独居高齢者の方々へ配ったら、みなさんに非常に喜んでもらえた。マジックテープも付けてもらい、衛生的にも良いし、生地もお弁当が冷めにくい物へ変えてもらい、非常に使いやすいものになったので心から感謝している。ここ数年の少子化の影響もあり、入学者数が減少している。今後は阿木高校のアピールをしていくことが非常に大事になってくると思う。

学校評議員Ｃ

本当に今日に発表された生徒さんたちを見ても大きな声ですごいし、良い発表でした。私は保育園で長年勤務し、送り出した子供たちが小学校、中学校を経て高校に入って世話になっていると思っている。実際私が保育園で関わってきた子供が、阿木高校の生徒のなかにも数人いた。頑張っている姿を見て今日はうれしかった。高校の先生方には大変丁寧な指導をしていただいていると感じている。阿木高校と保育園の園児との交流ではコロナの関係でこの 3 年間は思うような十分な交流が出来なかった。そんな中でも今年度は総合生活科の生徒にハロウィングッズをプレゼントしていただいたり、12 月には 1 年生が学校歳で製作した数多くのペーパークラフトで作った動物をいただき、子どもたちもとても喜んでいました。

学校評議員Ｄ

まず発表を見させていただいて、非常にしっかりしている。それから聴いている生徒の態度も良かった。今日の SDGs の発表の中にシュレッダー屑を畑に入れると草が生えないとあったが、あのシュレダー屑は風に吹かれて散らからないのか疑問が残った。私は以前阿木高校の育友会の会長していたが、役員会の総会やっても 10 人ぐらいしか親が集まらなかった。それから文化祭などの学校行事にも姿を見せる親は少なかったように思う。生徒が頑張っている姿を親にもちゃんと見てもらいたいと思う。ひとつ気になったことは就職希望者に対して十分に求人が来ているのか心配である。私は会社に勤めていたが阿木高校のＯＢにはあまりだって来なかった。阿木高校の卒業生は社会で活躍しているのか心配である。

学校評議員Ｅ

校長先生はじめ、他の先生方には、子供達の支援を日々精一杯やっていただき本当にありがとうございます。先程の発表の中でも、先に喋っていただいた評議員の方々からも、色々な形で言ってもらったように自分達がやったことを自信持って堂々と説明できていた。このようにリーダーの活動やいろんな力を身につけて活動したことが自信となってこのような発表ができた。阿木高校に入って良かったと感じる生徒が多い。先生方の説明のなかにも会ったように CBC ラジオ出演や YOUTUBE での配信もあり、今の時代の流れからも情報発信する機会も増えて良かったと思う。この広報活動が来年か再来年はもっと広がるかもしれないし、中学生や小学生たちが阿木高校の活動を知って興味をもって本当に行きたいと思ってくれる子が増えると良い。

9　学校長挨拶（第 2 回学校評議員会のまとめ）

この学校評議員会という組織は、今年度が最後になる。来年度からレジュメの経緯のところに書いてあるが、法令等の改正によりまして学校運営協議会という組織に移行する。違いは学校の運営方針について学校側が提示した方針について承認できるのかどうなのかを学校運営協議会のメンバーに意見をお伺いすることになる。議案についての承認やご意見をいただく。また、教職員の任用に関しても教育委員会に意見を述べることができる。また、開催回数も年 3 回に増えるので、どのような形で来年度行うのか市教委と相談しながら、今少しずつ固めつつある。5 月、10 月、1 月の年 3 回実施していきたいと考えている。

このように来年度から学校運営協議会という形で新たにスタートしたい。